

子供たちを楽しませよう大作戦 ～今日から君も動物博士～

発表原稿 2年 WeAre

クリック係：田内

高橋

- ① ●今回私たちは、株式会社青空 移動動物園アクティブ様にご協力を依頼しました。●
- ② 移動動物園アクティブ様は、出張型の動物園です。動物と触れ合い、楽しく学ぶことのできるイベントを開催しています。主な訪問施設は幼稚園や保育園、各種イベントです。●
- ③ 飼育されている動物種は全部で約 200 種います。モルモット、ヤギなどメジャーな動物だけではなくサソリやコンドルなど珍しい動物なども飼育されています。●
- ④ 私たちは企業様と話し合い、問題点を見出しました。それは、お客様に対してスタッフの人数が少ないことです。そのため、動物の説明が不足することやお客様が暇を持て余してしまうことがあげられました。●この問題を解決するために待ち時間を楽しく過ごしてもらうこと、子供たちの学習の機会となる展示物を作成しました。●
- ⑤ そこで、企業様はお客様の待ち時間に動物の紹介を行うことができる。子供たちは楽しく学ぶことができる。保育士は子供たち全員が楽しむことのできる、もの为目标にします。●企業様、子供たち、保育士の三者の満足が重なることを目指して、制作をしています。●
- ⑥ まず制作したものは試作品 A です。展示場所はスペースに限りがあるので、場所を取らないことで、企業様のメリットになります。そして、スタンドを分解することができるので持ち運びをしやすくなります。また、情報を端的に伝えることで子供たちが理解しやすくなると考えます。●
- ⑦ 試作品 B では試作品 A ではできない動かせる仕組みで、触れて学べるようにしました。動かせることによって、子供たちの興味をひきやすいため、集客率が上がると考えます。また、使いやすくするために、スタンドは試作品 A と同じものが使えます。●
- ⑧ これは花園保育園で試作品を試した結果です。A は企業様と保育士からは、安全性や場所を取らないという点から評価されました。B は子供たちにとってさわれることから興味を持たれましたが、逆に集まりすぎてしまい子供たち同士が揉める原因になることで

保育士の負担が増える結果になりました。●

- ⑨ 同じものを聖心幼稚園で試した結果です。企業様と子供たちからの評価は花園保育園と同じ結果になりました。しかし、保育士から、試作品 A は紙芝居を連想させたため、評価がよくありませんでした。●

プレゼンター交代

春日井(田内)

- ⑩ これらの結果から、試作品 C を作成しました。試作品 A の利点である、無人運用。試作品 B の利点であるさわることのできる展示。また、広さを設けることで、子供たちが集まりすぎること回避できます。内容は実際に動物を見て答え合わせができるようなクイズになっています。●
- ⑪ 改善した試作品 C をたからうらこども園で試しました。企業様からは、デザインはよかったが、子供たちにカードを持っていかれるなどの問題が挙げられました。子供たちにとっては、動物の豆知識が乗っており学習のきっかけになりました。保育士からは、文字だけでなく、イラストが含まれていたため幅広い学年が楽しむことができました。と評価をいただきました。●
- ⑫ これまでの結果から、試作品 A の中身の改善を行いました。そして、試作品 B は企業様や保育士の負担が増えてしまうことから、不採用となりました。●
- ⑬ 完成品 C は試作品 C での問題点であった子供たちがクイズのカードを持って行ってしまふ点を、台に固定することで改善しました。また、上のベンチ型のはカードが見やすくなっています。下のサークル型のはクイズのめくりっぱなしをなくしました。●
- ⑭ 最終的には完成品 A と完成品 C を使います。これらを使うのは無人運用が可能という点と、子供が楽しく学ぶことが出来るという当初の目標をクリアしているためです。(また、折り畳みが可能など実用的な側面も持ち合わせています。)これらの運用の仕方を説明します。完成品 A でお客様を誘導し、完成品 C でクイズをする流れです。完成品 A があることで何があるかが一目でわかるようになっています。●

- ⑮ 完成品 A と C をお東幼稚園で試しました。評価は企業様、子供たち、保育士のすべての方から良い評価をいただくことができました。この結果から三者の願いがすべて叶うものができたと言えます。●
- ⑯ 実際の写真がこちらです。子供たちはカードの答えが分からず、正解を探しに行ったり、保護者の方と一緒に考えたりと、夢中になっていました。●
- ⑰ また、実際に動物を見ながらクイズをすることで、ただ動物を見るよりも楽しく観察できていると感じました。●
- ⑱ 左の写真は企業様が実際に使用している様子です。また右の写真では、全問正解を目指して頑張っている子もいました。●
- ⑲ 企業様からの評価として、カードの絵が面白いなどのデザイン性、無人での運用だけでなく大人数の対応が可能なこと、持ち運びがしやすいことから●今後の継続使用が決定しました。●

結果として、私たちの作品が少人数のスタッフでも充実したサービスを創り出すことができ、子供たちが楽しんで学習できるきっかけにもなりました。また、当初の目的であった無人運用も達成しました。この展示物を通して今後も企業様、子供たちの笑顔が増えることを願います。

- ⑳ ●〔タイトル画面〕これで発表を終わります。ありがとうございました。